



「尚徳」 2月号 第581号 令和3年2月25日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<https://sho.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>

題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)



もしものときに備えて

校長 山下 博樹

まもなくあの東日本大震災から10年を迎えようとしています。本校の子供たちの約半数は震災後に生まれたこととなります。そうしたなかで、先日の“余震”が発生しました。10年前の教訓を生かし、深夜にもかかわらず高齢者からも津波を恐れ、まずは避難をした人が多かったそうです。幸い人的被害は大きくなりませんでした。余震と呼ぶにはあまりに大きく、津波こそ発生しませんでした。家屋や道路・鉄道などインフラに多大な被害を与えました。

東日本大震災では、津波が学校にもおよび、子供たちや教職員にも多くの被害が発生しました。その後の裁判の判決で、学校は災害時の避難対応や防災などの責任を負うことが示され、対応マニュアルなどの作成も求められるようになりました。こうした動きを受け、昨年度より懇話会役員の方たちと本校の防災：・災害対応の備えについて相談を始めました。本年度に入ってから、大学の藪田地域連携担当理事、工学部の黒岩教授、防災啓発活動に取り組む学生団体「鳥大防災Lab.」にも協力を得て、附属中学校と合同の勉強会を数回実施しました。学校での防災教育や、もしものときに備えての食料やその他の備蓄などについて意見交換を行いました。

そうした活動の成果として、本年度は子供向けの音声付き紙芝居を防災Lab.に作成してもらい、近日公開予定です。ぜひともご家族で視聴してください。また防災Lab.の活動は県の支援も受けていることから、県より本校児童に防災グッズのセットがプレゼントされます。それに合わせて懇話会も学校の備蓄用非常食を検討中で、その候補をみなさんに試食してもらうために配布する予定です。いろいろなご意見やご感想をお寄せください。公立学校とは異なり、通学に公共交通機関や保護者の送迎を利用している子供が多くいる現状に配慮した防災マニュアルづくりが、来年度の課題の一つになります。懇話会、保護者のみなさまのご理解とご協力を得ながら準備を進めていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

3月の行事予定

1日 (月) 【B週】 研究日	17日 (水) 卒業証書授与式 1~5年 臨時休校
2日 (火) 6年生を送る会	20日 (土) 春分の日
3日 (水) 職員会議	22日 (月) 【A週】 給食後下校 研究日
4日 (木) 6年薬物乱用防止教室 学校評議員会	23日 (火) 給食後下校
5日 (金) ワックスかけ(教室)	24日 (水) 修了式・離任式
8日 (月) 【A週】	25日 (木) 学年末・学年始休業日 ~4月5日 (月) まで
10日 (水) 委員会	4月6日 (火) 着任式・始業式
11日 (木) 6年デラックス給食 1~5年 弁当の日	7日 (水) 入学式
15日 (月) 【B週】	
16日 (火) 卒業式前日準備 給食後下校(5年生以外) 5年5校時後下校	



感染症対応等で予定が変更されることがあります。ご了承ください。

学校の様子・子供の様子

*** 全校「実りの学校」 ***

2月2日から9日の期間に「実りの学校」(学習成果発表)を行いました。今年度は発表者、参観者の密の状態に対応するために、1日1学年の発表としました。

「キャリアに拓く」を中心にこれまでの学習活動での学びの成果を発表することを通して、さらに学びが深まる機会でもありました。また、今年度はコロナ禍であり、交流などの活動が制限されてきたことがありましたが、発表の仕方を工夫することで、伝えたいことを詳しく発表にすることができました。

全学年の発表の様子を紹介します。低学年「できるようになった」、中学年「学んだことを自分たちで工夫して表現する」、高学年「学んだことから自分の考えをもつ、自分たちで発表を創る」に成長してきていることを感じていただけたらと思います。

*** 1年 ***

「大きくなったね1年かん〜つながれえがお〜」

1年生は、入学してから学んできたことについて、教科ごとのグループに分かれて発表しました。自分たちの過ごしてきた1年間を振り返り、がんばってきたことやおうちの方に発表したい内容について話し合い、はりきって練習を重ねました。

初めての発表会、当日は緊張しながらも堂々と発表することができました。実りの学校を通して、一人一人が充実感を味わい、集団としての力も高まりました。



*** 2年 ***

「ふしぎがいっぱいわくわく 大学たんけん」

2年生は、生活科の学習で行った「大学探検」での学びを、訪問した研究室ごとにまとめ、発表しました。

自分たちで伝えたいことを考えたり、見ている人に伝わるように、発表の仕方を工夫したりしながら、練習に取り組みました。当日の発表では、クイズや実験の様子を録画したものなども交えながら、大学の先生方の研究の一端を紹介したり、自分たちが学んだことを伝えたりすることができました。



*** 3年 ***

「ちいきのはてまでシッテQ！」

3年生では、身近な湖山池や鳥取市のことに目を向け、疑問を出したり考えたりしながら学習を進めました。実りの学校に向けて、練習と本番のめあてをたて、自分たちで台詞にあった動きを付けたり、発表の内容を考えたりして練習を進めました。

当日の発表では、最初は緊張している様子でしたが、後半は楽しみながら発表する姿も見られました。発表後は、無事発表し終えたことを友達と喜び合いました。



*** 4年 ***

「わたしたちの地球を守れ〜SDGsを見つめて〜」

4年生は、わたしたちの地球環境を考えるために、「持続可能性」と「わたしたちの責任」を柱に学習を進めました。地球環境という難しい内容ではありましたが、4年生なりに身近なレベルまで考えられたのではないかと思います。

当日の発表では、自分たちの考えた切り、表現方法で学びを伝えました。普段よりも緊張している様子が見えましたが、発表後は「終わった〜。」とほっとした表情をしていました。



*** 5年 ***

「アイデア」

5年生は、様々なものを生み出したり、考えたりする発想法(発明案)について学んできました。この学習では、鳥取大学医学部の先生方にゲストティーチャーとして関わっていただいています。学んだ発想スキルや考え方を生かして、普段の生活で困ることを解決するアイデアをグループで考えました。

当日の発表は、ポスターセッション形式で行い、計14グループが、自分たちのアイデアについて、実物、寸劇、図、グラフ、表などを活用して、生き生きと伝えることができました。



*** 6年 ***

「大切なもの」

わくわく班や運動会など最上級生としての様々な取組、優しい学校づくりを目指すプロジェクト、キャリアに拓く、そして平和学習など、この1年間の歩みを劇や語りで表現しました。また、自分たちの成長や課題など、日々の生活について振り返り、今思うこと、大切にしていることを伝えました。そして、これまで自分たちで話し合い、言葉やダンスなどを考え、向かう姿など、準備の2週間の中でもまた成長と努力の姿がいくつも見られました。その姿を見て我々担任も一緒に学び、さらに頼もしく、愛おしく感じました。

